

ON!

大丸有の夜。

CITY IS MADE AT NIGHT

Old but New

伝統を残しながら、変わり続ける街
大手町・丸の内・有楽町の
街づくりを発信する情報誌

2006 AUTUMN

009



24時間、眠らない街。



ビジネスの街、ショッピングの街、そして観光の街としていつも賑わいをみせる大丸有（大手町・丸の内・有楽町）。そんな華やかな街を支えるために、舞台裏ではさまざまな活動が繰り広げられています。今回は、24時間眠らない街、大丸有の夜から明け方までの姿を追ってみました。

行幸通りから東京駅方面を臨む。写真左は午後11時30分、右は午前6時。

17:00

大丸有に夜のとぼりが降りるころ
歩道が輝きを増し、人々を誘う。

丸の内オアゾ



冬ならば夕方5時過ぎ。大丸有の夜が始まることを知らせるかのよう、オアゾのアトリウム付近がキレイにライトアップされる。とりわけ、ゲート広場の床面のライトは横断歩道のように人々を誘い、昼間には気がつかなかった仕掛けに思わず息を呑む。公開空地では江戸小紋をあしらったガラスのスクリーンが光を柔らかく伝え、この街が徐々に夜のとぼりに包まれていくことを教えてくれる。



19:00

24時間眠らない街は
駐車場もまた起き続ける。

丸の内パークイン



この街に便利でお得なパーキングが、たくさんあることは意外に知られていない。「丸の内パークイン」だけで、有楽町電気ビルから新大手町ビルまで、大丸有に17カ所約3,500台の駐車をカバーしている。丸の内オアゾなど24時間対応のパーキングもある。そしてユニークなのが、夜間の利用だけに限定した使い方「夜間バスポート」というシステムだ。日曜日から土曜日、19時から翌朝7時まで利用できて月額20,000円はおトク感がある。利用するのはやはり、海外との仕事のためにどうしても夜間勤務になってしまう国際派ビジネスマンが多いそうだ。24時間眠らない街は、駐車場も起き続けている。

20:00

丸の内の空で
天体観測！

Nature Info Plaza 丸の内さえずり館



丸の内から宇宙を見ると題して今年の夏に行われたのが「夏の星空勉強会」。7月11日、18日、25日と3夜ともあいくの曇



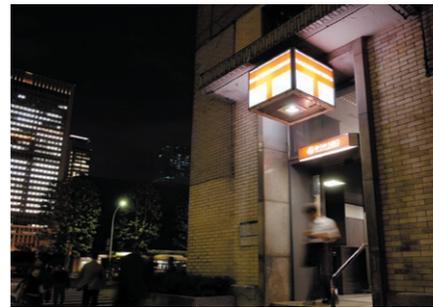
天で残念ながら星空を見ることができなかった。「秋の星空勉強会」は10月30日、11月7日、11月14日の3日間開催。丸の内の秋の夜空に上弦の月を探してみるのも一興では？ 興味ある方は下記アドレスまで。

【Nature Info Plaza 丸の内さえずり館】
<http://www.m-nature.info>

21:00

郵便の窓口も
24時間オープン。

東京中央郵便局



郵便の窓口が夕方閉まってしまうなんてもう昔の話だ。以前は時間外窓口と呼ばれていたのが「ゆうゆう窓口」と新

名称になって7年。東京中央郵便局では、通常窓口が終了する21時から翌朝9時まで「ゆうゆう窓口」が開いていて、実質24時間オープンというわけだ。場所柄、郵便物の発送代行会社の利用が多いが、見ていると個人の方の姿もちらほら…。速達郵便から小包、航空郵便まで幅広く扱っている、イザというとき重宝しそうだ。

22:00

安心して乗れるワケ
は夜間にあった。

有楽町マリオン



ブレーキの機能や扉の開閉に問題はないか。デパートや映画館が入っている有楽町マリオンでは、営業時間が過ぎてからエレベーター・メンテナンスの時間となる。ここをはじめ、定休日の少ないショッピング

ビルや複合施設を担当している三菱電機ビルテクノサービスでは、専門技術者が定期的に訪問。24時間・365日休まず行っている遠隔点検のデータをもとに、きめ細やかな点検と調整・給油・清掃などの手入れ保全を実施している。

23:30

ニューヨークの朝の熱気が、ここにある。

みずほコーポレート銀行



終電も近くなり、皆が家路を急ぐ23時30分。アメリカでは、世界のマーケットを左右するニューヨーク証券取引所が開く。これを期に、為替は激しく動き始め、マーケットは活況を呈し、各種経済指標も公表される。これらの情報を把握しないことには、グローバル金融の世界は勝ち抜けない。この時間ながら本当の勝負なのだ。みずほコーポレート銀行は42の海外拠点をもつ金融機関。国際都市、大丸有では、休むことなく夜もビジネスが動いている。

00:30

人々が寝静まるころカートが踊り出す。

東京国際フォーラム 展示ホール



いくつもの異なるタイプのホールがある東京国際フォーラム。なかでも5,000m²という広大なスペースを持つのが、地下2階の「展示ホール」だ。さまざまなイベントに使われ、バーゲンともなればバーゲンハンターでごった返す。そんな「祭りのあと」をキレイにするのがこのカート。ゴミをとって床を磨いてくれるが、通常は2台で5時間かかる。清掃がはじまるのは、イベント後だから当然夜中だが、翌朝にはすっかりきれいになって、次のイベントを待ちかまえる。

01:03

これを逃すとあとがない！

JR東京駅



JR東京駅をいちばん最後に出る電車は午前1時3分発の山手線外回りだ。終着駅が品川だから乗客なんてそんなにいないのではと思うが、これが意外と多く、各車両10名ぐらいは乗っている。そして終電が出た後10分ぐらい経つと、駅のシャッターがガラガラと降りていく。始発電車の4時44分まで、駅もしばし眠りにつくのだが、実はシャッターは4時ごろにはすでに開いている。売店などに勤務する人たちが出勤するためだ。

04:00

午前4時までゆっくりと。

東京ビル(TOKIA) 1F P.C.M.



「丸の内の夜遊び、はじまる」のキャッチフレーズで昨年オープンしたTOKIA。その謳い文句の通り、ここは夜遅くまで営業している店が多い。なかでもP.C.M. Pub Cardinal Marunouchiは、深夜というか、明け方4時までの営業。30年前に六本木にあった「Pub Cardinal」を現代に再現した伝説のバー&ラウンジだ。2時を過ぎても、2軒目、3軒目にやってくる人が多く客足は絶えない。深夜も動き続ける大丸有の象徴的スポットといえる。

02:30

いちばん遅くに刷り上がった最新版の新聞が届き仕分けされ、大丸有に配達されていく。

丸の内新聞事業協同組合



有楽町と新橋の間の高架線下、緑色のネオンがひととき鮮やかな「丸の内新聞事業協同組合」。専売が主体の新聞にあって、この事業協同組合は大丸有にすべての新聞を配達するという特殊な任務を持つ。午前2時30分ともなると、各紙のトラックが次々と到着し刷りたての新聞を降ろしていく。

05:30



朝5時30分ごろになると、配達する人が始発電車で続々とつめかける。彼らがまず行るのは新聞のセッティング。ビルのフロアごとに新聞をセットしていくのだ。現在扱っているのは国内外の新聞など約300種。自分の配達エリアについては、その部数と種類はほとんど頭の中に入っているというからさすがプロだ。

06:30



配達の仕事がまたユニーク。最寄りのビルまでは、軽トラックで新聞を運ぶ。タイミングを見計らったかのように自転車で配達員が駆けつけ、トラックから降ろされた新聞をビルの各フロアに配っていくのだ。彼らの持つ新聞は14版、15版と記された最終版。いちばん最新のニュースが毎朝この街に届く。

詳細情報はこちらへ▶



I N T E R V I E W

国際都市・大丸有のメンテナンスは 深夜を効率的に使うことがポイント。

三菱地所ビルマネジメント(株)
丸の内事業本部 営業管理部
オアソサービスセンター 所長
八木重長



当社グループは、ビルの保守・管理を長年行っていますが、警備員と設備運転管理員が24時間常駐し、夜中も常に数名が各ビルに勤務するという体制をとっています。また、駐車場も、オアソのように24時間シャッターを開けたままの状態で営業しているところもあります。

大丸有の店舗は、以前は日曜日を休みにして、平日の夜も9時ごろにクローズし始めるところがほとんどでした。しかし、この街がビジネス街という言葉で括れなくなってからは、日曜日も営業し、平日も終電近くまで開いているところが増えています。こうなると店舗室内で行う設備点検も夜の深い時間帯に行わなければなりません。また、廊下のワックスがけやトイレ、シャッター、自動扉の点検、構築物の安全点検といった作業も深夜しか時間がとれず、我々にとって「深夜」を効率的に使うことが大きなテーマとなってきています。

一方、オフィスに関しては、セキュリティに対する要求レベルが以前に比べて格段に高くなっています。これは、個人情報保護法が施行されたことの影響もあります。しかしそれ以上に、大丸有のオフィスが単なる本社機能や営業拠点としてだけでなく、付加価値を創造する知識集約型産業の生産現場として機能するようになり、情報管理を徹底する必要が出てきたためです。それに伴い、オフィスもより静穏で快適な環境であることが求められています。したがって、日常の清掃や点検等で作業員が出入りすることで煩わされたくないという声も強く、こうした作業も週末や夜に集中していくこととなります。

最近では夜中の3時ごろになって、時間外空調を入れて欲しいというオーダーが入ることも珍しくなく、そんなことから大丸有が国際都市として24時間眠らない街となってきていることを実感しています。

T O P I C S

三菱商事ビル・古河ビル・丸の内八重洲ビル 建替計画概要発表

6月1日、「三菱商事ビル・古河ビル・丸の内八重洲ビル建替計画」の概要が発表された。特徴として、①復元される「三菱1号館」は美術館として活用、②中庭型に配置された緑豊かな広場が誕生、③環境共生への積極的な取組——があげられている。

[概要]

敷地面積:約11,900m²

主要用途:事務所、店舗、美術館、駐車場、
地域冷暖房施設等

最高高さ:約157m(高層棟、B4F~35F)

延床面積:約205,000m²

(高層棟・三菱1号館の計)



CowParade東京 in 丸の内 2006開催

9月6日から10月1日にかけて、「アート丸の内 2006実行委員会」(当協議会も委員として参加)主催のパブリックアートの祭典「カウパレード」が大手町・丸の内・有楽町で開催された。このとき同時に、若手アーティストの発掘等を目的とした「東京コンペ」が、全65頭のカウのうち20頭をキャンパスとし「東京コンペ in CowParade2006」という形で展開されている。



発行:大手町・丸の内・有楽町地区
再開発計画推進協議会

〒100-8133 東京都千代田区大手町1-6-1
大手町ビル635区

TEL.03-3287-6181 FAX.03-3211-4367

ホームページ <http://www.lares.dti.ne.jp/~tcc/>

*本誌に関するご意見、ご感想等ございましたら下記までお寄せください。
e-mail:tcc@lares.dti.ne.jp



「東京丸の内コピキタス
ミュージアム」へようこそ

